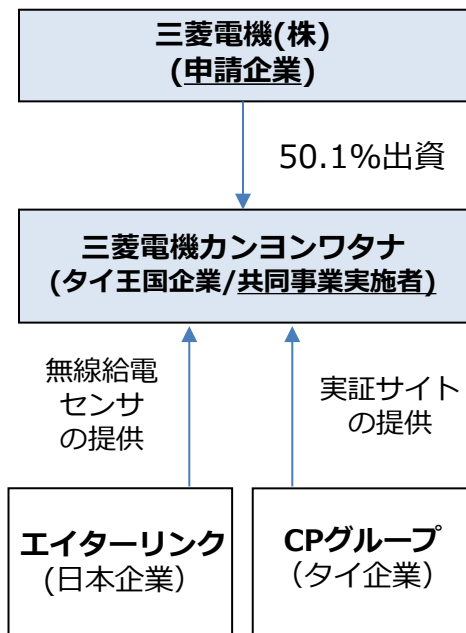


プロジェクト名	タイ王国/AIによる空調・冷凍冷蔵設備の運転制御と省エネ効果最大化を目指す実証事業		
企業名	三菱電機株式会社	企業規模	中小企業・ 中小企業以外
類型	類型1 ・ 類型2 ・類型3	分野	GX分野 ・ DX分野 ・経済安全保障分野
事業総額/補助対象経費総額/補助金申請額	34億円 / 34億円 / 17億円		

事業概要

【想定事業スキーム】



【概要】本実証ではAI 制御による空調・冷凍冷蔵設備の省エネ効果最大化を目指す。当社がAI を設計・管理し、現地関連企業の三菱電機カンヨンワタナが、大型複合商業施設を対象にセンサ等機器の施工・設置、保守、設備運用改善提案を担う。また、センサはJ-Startup選定企業であるエイターリンク社の無線給電センサを採用し、対象施設の運用環境を継続的にデータ収集可能な環境を構築する。

【主な技術及び実証性】当社は既存の空調・冷凍冷蔵設備更新を必要とせず、AIを活用した設備の運転制御の最適化により省エネ効果を最大化する技術を有している。本実証では、我が国とは異なる高温多湿なタイ王国においても、省エネ効果が再現されることを実証する。

【スケジュール】

実証サイト（大型複合商業施設: CPグループ）

- ・2026年～28年 : 実証開始 対象店舗にセンサの施工・設置/データ活用によるAI学習
- ・2029年3月31日 : 実証終了
- ・2029年4月1日～ : 大型複合商業施設向けのAI省エネモデルとしてタイ王国内及びASEAN諸国で展開予定



▲実証サイトの一例

日本裨益

【本事業が我が国のイノベーション創出に裨益するポイント】

- ・温暖化が進む我が国でのAI制御による省エネ技術の確立。

【結果生み出される国内雇用・投資効果等】

- ・日本製品である無線給電機器の輸出拡大。
- ・本実証成果の商用化に伴い、データの利活用やAIモデルの継続的な改良・高度化を担う業務が国内に定着し、高度DX人材の新たな雇用を創出する。